

農事組合法人細川 代表理事 細川 道男(石川県白山市)

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
べこあおば	約2.2ha	676kg/10a	135kg/10a(541kg/10a※)

※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

- 農事組合法人(代表理事及び代表理事のご子息)
- 平成30年に農事組合法人を設立。

【作付品目】

- 主食用米 コシヒカリ 7.7ha
- 飼料用米 べこあおば 2.2ha



【取組のきっかけ】

○過去に養鶏を行っており、養鶏に関する知識を持っていることや、養鶏農家の要望に応えるため、平成21年から飼料用米の生産に取り組んでいる。

石川県



【取組概要】

- 田植え同時一発側条肥料を増肥し、多収品種「べこあおば」を導入することにより、単収向上及び施肥労力の軽減を実現。
- 稲わらを秋にすき込み、水田の地力維持を図ることで、単収を確保。
- 主食用米「コシヒカリ」の収穫終了後に収穫期を迎える「べこあおば」を作付けすることにより、収穫と作業時期の競合を回避。
- 除草剤の田植え同時散布と投げ込み方式の除草剤の使用や、こまめな畦畔や農道の除草管理により、カメムシ等の害虫や病気の発生を抑制するとともに、本田の病害虫防除を行わない水稻の生産を実現。
- 殺虫殺菌剤を使用しない飼料用米の生産について、安心安全な飼料用米として養鶏農家から高評価。
- 自動操舵式田植機やトラクターへの後付け自動操舵システムの搭載により、作業の効率化と同時に作業の負担の軽減を実現。